

# 学校だより



平成20年11月26日

広島市立井口小学校  
第13-1号

<http://www.inokuchi-e.edu.city.hiroshima.jp/>

## りゅうじん山

今年も残すところ1ヶ月となりました。保護者の皆様には平素より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、4月22日には全国の小中学校で、小学校第6学年・中学校第3学年を対象に「全国学力・学習状況調査」が、6月10日には広島県内の小中学校で、小学校第5学年・中学校第2学年を対象に「『基礎・基本』定着状況調査」が、それぞれ一斉に行われました。

各学年の結果と分析につきましては、各学年の懇談会において説明をいたしましたが、その内容は、本校児童に共通する傾向として捉えることができます。

そこで、他の学年におきましても、今後の学習や生活における指導に活かしていただきたいと考え、お知らせすることとしています。ご家庭でも参考にさせていただきますよう、お願いいたします。

## 「基礎・基本」定着状況調査の結果報告

### 1 「基礎・基本」定着状況調査の目的

「読み・書き・計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況や、児童の生活や学習に関する意識や実態を把握すること。

結果を分析することで、学校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善・充実を図ること。

### 2 調査内容

- (1) 国語と算数における4年生までの学習内容の定着状況
- (2) 生活と学習に関する意識・実態について児童質問調査

### 3 調査結果について

#### (1-1) 国語科

##### 国語

領域	平均正答率(%)		
	県	市	井口小
聞くこと	82.1	82.0	<b>87.6</b>
書くこと	62.0	58.3	<b>58.4</b>
読むこと	60.6	61.3	<b>69.0</b>
言語事項	69.1	67.4	<b>72.8</b>

全体として、県や市を上回る結果でした。「読むこと」については、学校全体で、基礎学力の定着を目標にあげ、文章を正しく読み取る学習に取り組んだ結果が出ていると思われます。しかし、同じ「読むこと」の中でも、「段落相互の関係を考え文章を正しく読むこと」の力は、まだ、不十分で

あり、引き続き取り組む必要を感じました。また、「書くこと」の「書こうとすること」の中心を明確にしながら段落と段落との続き方に注意して書くこと」の力は、十分とは言えません。文章の構成を意識して書くために、ナンバリングの手法を取り入れるなど、工夫して指導していきたいと考えています。「言語事項」におきましても、「意味を考えて熟語を使うこと」や「主語と述語の関係をとらえること」に課題が残り、今後重点をおいて取り組む必要を感じました。

今後も学校の研究主題として取り上げている「話すこと・聞くこと」に重点を置きながら、音読・読書タイム・ことばの教育に取り組み、教材文から情報を読み取り、伝え合う力を高める授業づくりに努め、基礎学力を高めていきたいと思います。さらに、「言語事項」におきましても、新出漢字と既習漢字のくり返し学習を継続し、「意味を考えて熟語を使うこと」や「主語と述語の関係をとらえること」にも重点をおいて取り組んでいきたいと思います。また、読書指導を充実させ、図書室の活用を積極的に行い、本好きな児童を増やすとともに、語彙を増やしていきたいと考えています。

## (1-2) 算数科

### 算数

領域	平均正答率(%)		
	県	市	井口小
数と計算	85.0	84.6	85.6
量と測定	69.4	69.6	73.0
図形	67.0	66.6	72.1
数量関係	76.8	76.4	79.2

全体として、県や市を上回る結果でした。基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。中でも、領域別では、「数と計算」と「数量関係」の領域は、80%前後のできればえで、良好でした。

しかし、問題別に見ると「数と計算」の領域では、小数の減法での位取りや数の大

きさの問題、「図形」の領域では、立方体の頂点の数や三角形の定義の問題で、誤答が目立ちました。また、「数量関係」では、伴って変わる2つの数量の関係を見つけて、式に表わすことができていない児童が4割強いました。

そこで、今後、基礎的・基本的な知識技能をもとに、問題を解決したり新しい考えを生み出したりするために、計算ドリルやプリントなどのくり返し学習をさらに充実させ、継続して指導していき、計算力の定着を図っていきたいと思います。また、個に応じた指導法の工夫をし、学習内容の理解を図っていくとともに、具体物操作や体験活動をはじめとする算数的活動を取り入れた学習をこれまで以上に工夫して、「図形」や「数量関係」の認識を深め、理論的に考える力も高めていきたいと思います。

裏面に「生活と学習に関する意識・実態について児童質問調査」について、報告させていただいています。